



の がき 野垣あきこまちづくりカフェ

子ども・暮らし・平和



2024年8月28日 No.195 連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

下井草まちづくりラボ

西武線の連続立体交差化後の下井草をイメージして



まちづくりや鉄道連立 子どもたちも考える機会に

杉並区は24日、住民とともに下井草駅周辺のまちづくりの検討を進める「下井草まちづくりラボ」の第3回目を開催しました。

鉄道連立について情報提供

会場には下井草駅周辺の模型が用意され、専門家から西武新宿線の連続立体交差化事業で高架・地下になった際のそれぞれのイメージが語られました。下井草地域のまちづくりにとって大事な課題であり、私も区議会で何度も取り上げてきました。

参加者の関心は高く、休憩中にも何人かが模型を見ながら話す姿もありました。地下化の場

合は駅舎をずらして広場を作ることが可能、高架化で線路は4階建てのビルくらいの高さになり、線路の北側には5〜9mの側道が必要になるなど、鉄道連続立体交差化の情報が住民に共有され始めたことは前進です。

「まちあるき」の振り返り

前回は「まちあるき」が行われ、その振り返りとして、参加者がまちの魅力、課題、提案や質問を書いた地図に貼りました。下井草の魅力は緑がある場所、課題が集中したのは旧早稲田通りの狭さや歩道の段差、提案や質問は主に駅や線路周辺、商店街に貼られたことが特徴的でした。

4名の小中学生がプレゼン

まちづくりラボの中で、小中学生がまちの将来像を考える「夏休みまちづくりプロジェクト」という取組があり、4名の小中学生がプレゼンを行いました。

5年生の子の感じる課題はサッカーが出来る場所がない、みどりが少ないなど。課題解決のため

にスポーツや娯楽（将棋や銭湯など）や屋上庭園のある複合施設を考えたと発表。その模型も展示されました。



6年生の子の発表では、まちあるきで西武線の地下化を求めるポスターを見つけ、地元の人たちは地下化を望んでいるようだ、と紹介していました。

子どもたちの視点や発想に参加者は驚いたり感心したり。私は、杉並区の目指す子どもの権利条例の制定に繋がる意見表明の場になったのではと感じました。今回のまちづくりラボの参加者は34名。傍聴は9名でした。

今後のスケジュールは？

第4回目は9月21日に八成一区民集会所で開催されます。日大理工学部土木工学課教授の中村英夫氏（東京都事業評価委員会）を講師に、鉄道連立と駅周辺のまちづくりについて勉強します。

傍聴を希望される方は、区役所の市街地整備課・鉄道立体係までご連絡ください。

住民のための区立施設を 各地域の取り組みや課題を共有

27日、杉並区の施設マネジメント計画の現状と課題をテーマに学習会が行われました。主催は住民のための区立施設を考える会。**強行から検証と見直しへ、押しつけから対話の計画へ**

最初に富田区議が、杉並区が区立施設について、前区政時代の統廃合の方針を見直し、検証や対話を進めながら適正管理する「区立施設マネジメント計画」を3月に策定したことを報告しました。

区は各地域で住民参加の話し合いを進めています。地域によって状況が異なり、今後の施設あり方や福祉を心配する声もあります。

各地域からの報告と課題

現在ワークショップが進行中の旧上荻会議室の状況や住民の声などを山田区議が、浜田山、西宮中周辺を立憲民主党の区議が



▲報告する山田区議、富田区議

報告しました。

課題として、ゆうゆう館や児童館など福祉施設の話し合いなのに福祉への理解がないまま進んでいることや、中心部に大きな施設を作るのではなく、小さくてもよいので移動しやすい身近なところに数多く必要だということが語られました。

今後は福祉の専門家の意見を参考にすることや、子どもの権利条例の制定で子どもの居場所を作っていくことなどが求められているとしました。

若杉小跡地についても今後話し合いが始まります。住民からは、廃校後の校舎を活用した他区の施設を有志で見学したことや、区は既存校舎を建て替える方針との報告がありました。

参加者からは、「ゆうゆう館を残して」「施設使用料を下げて欲しい」「平和資料館の建設を」などの意見が出されました。

区立施設マネジメント計画（杉並区HP）▼



弁護士による法律相談

毎週 水・金曜 2～4時半

会場 日本共産党杉並地区委員会
高円寺南3-30-12

電話 03-3314-5551

※予約は必要ありません。
当日現地で先着順です。



野垣あきこ地域学習会

どうなってるの？

東京の再開発・まちづくり・住宅政策



9/22(日)13時半～
井草地域区民センター
講師 原田あきら都議

参加費無料

主催 日本共産党井草下井草支部
野垣あきこ事務所

あきらの部屋

お盆中に「お米が売ってなくて買えない」という相談が寄せられました。相談者の近所の店頭には少ししか並んでいなくて一人一袋までと制限されているとのこと。数日後に2キロだけ買えた、と連絡が来ました。別の相談者からは、コロナ禍で都が非課税世帯にお米を配布したが一人暮らしなので食べきれず親戚にあげた、今の米不足は一体なんなんでしょうかと。

私は産直のお米を購入している値段も安定しており、足りなくなることはないのですが、困っている人は大勢います。新米を出した商店でも例年よりちょっと高いと言っていて、庶民の台所事情は本当に深刻です。自民党政権は減反を押しつけ、民主党時代の農家への所得補償政策を廃止。今や農家は時給10円とも言われます。総選挙では農業政策や食糧自給率の低下も争点になりそうです。